

研究内容の概要

※A4で1枚以内に収めて研究内容の概要を記載すること。（最大2枚以内）

※ 該当する部分を■にして下さい。■その他の場合は（ ）内に内容を記載して下さい。

【重要】研究内容の概要概要を記載する前に必ず2ページ目以降の説明をお読み下さい。

■ 2ページ目以降のガイドライン(抜粋)について熟読しました。(チェックを入れて下さい)

介入研究（医薬品・医療機器を使用する）
 介入研究（医薬品・医療機器を使用しない）
 観察研究
 ヒトゲノム・遺伝子解析研究
 その他()

所 属	大学院医歯薬学総合研究科 麻酔・蘇生学分野
研究課題名	ロボット援助腹腔鏡補助下前立腺摘出術における術野局所麻酔浸潤下の腹横筋膜面ブロックが鎮痛効果に与える影響
申請者氏名及び連絡先	申請者： 谷西 秀紀 連絡先内線・PHS： 7327 (2589) メールアドレス： tanini-h@okayama-u.ac.jp
使用する医薬品医療機器等	<input checked="" type="checkbox"/> 使用あり 名称： ロピバカイン 本研究対象疾患に対する薬事承認・保険適応 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 使用なし
侵襲の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 侵襲あり <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲あり <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲あり（軽微な侵襲を含む）と判断した理由を記載して下さい。 (TAPブロックによる穿刺と薬剤（ロピバカインあるいは生理食塩水）投与) <input type="checkbox"/> 侵襲なし
介入の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 介入 <input checked="" type="checkbox"/> あり ありと判断した理由を記載して下さい。 (前向きDouble blindによる2群間比較) <input type="checkbox"/> なし

1) 研究内容

■岡大単独研究

□多施設共同研究

□岡大主幹 □他施設主幹(主幹施設：)

2) 研究について(研究の意義・目的、方法、企業からの資金を用いるか・将来を含めて
経済的利益を生み出すか等について簡明に)〔400字程度〕

近年の低侵襲手術の広まりとともに、硬膜外麻酔に替わる術後鎮痛法として閉創時の創部への局所麻酔薬投与の見直し、また腹横筋膜面ブロック(以下TAPブロック)の適用症例が増加している。TAPブロック・創部局所麻酔薬投与ともに単独では必要十分な鎮痛を得ることが難しいが、これらの併用が術後鎮痛に与える影響を評価した報告は現在のところみられない。本研究では泌尿器科ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術症例において、閉創時局所浸潤麻酔を行ったうえでのTAPブロックの施行がよりよい術後鎮痛を提供できるかを評価する。TAPブロックの薬剤を局所麻酔薬、生食投与の2群に分け、術後の疼痛に与える影響と術後24時間にわたって自己調節性鎮痛法で用いる鎮痛薬の投与量を評価する。TAPブロックが有意に疼痛を減らすのであれば両方の併用を進める有力な根拠となる。

3) 試料・情報について

使用する情報(既存情報か新たに資料を収集するか)

患者の疼痛の程度(numerical rating scale、術直後、1時間後、4時間後、24時間後)、術後PCA(自己調節鎮痛法)デバイスのデータ(術後24時間まで)

患者背景、副作用など有害情報 (新たに資料を収集する)

#患者から試料は採取しない

4) 対象疾患及び研究対象者

対象疾患名：前立腺癌

■患者 □健常者 □その他()

5) 研究フロー図

